



学校法人 日本芸術学園
日本芸術高等学園

令和元年度 自己点検・評価報告書

令和2年5月1日

<教育理念>

「感動の教育」… 感動は人生を開く。感動が人生を起こし、行動が人生を変える

「品格の教育」… 知識・技術・人格・礼節を兼ね備えた、品格ある人間の教育

「変革の教育」… 変革（Change）・挑戦（Challenge）・達成（Conquest）

<教育の特色>

生徒が主体的に学べる教育カリキュラムの編成に取り組み、すべての生徒にかけがえのない宝物を提供する「Precious Treasure 教育」を推進している。

<教育の目標と重点>

目標① エンターテインメント業界に要望されるプロフェッショナルの養成
・実技教科の充実

目標② 芸術表現・創造を通じて人間理解を深め人格形成を培う
芸術鑑賞及び学校行事の充実
・劇団四季「パリのアメリカ人」「アラジン」鑑賞
・東京ディズニーシーへの校外学習
・文化発表展、感謝祭の開催

目標③ 社会自立のために技術や専門知識、また、人格と礼節を兼ね備えた、基礎的な教養や生活力を身につけさせ、実社会に送り出す
・国語、英語、社会の座学教科指導
・風紀指導

<教育課程>

・カリキュラムの特色化と適切性

エンターテインメント業界で活躍できる人材として技術を磨くとともに、社会人基礎力を涵養し、育成を目指している。

・教育システム全体の工夫と充実

生徒の習熟度を測りながら、柔軟に対応。各種学校行事や外部講師、外部講師による講演などを取り入れ、社会とかかわる流動的な機会を確保している。

<教育環境>

- ・オーディオインターフェース等の音響系機材やストリングスカホン等の楽器類を新規購入
- ・LED PAR ライト等、新たな照明機材の導入
- ・エアコン室外機の補強

<教科指導>

- ・指導計画
年間の教科計画に従って、問題なく進行した。2 学年、3 学年には選択制授業を導入した。
- ・成績評価および授業評価
 - 成績評価
座学教科、実技教科共に平常点およびテスト点を総合し、数値化している。
 - 授業評価
現場経験豊富な講師陣から、対面式の授業に重きを置き、座学教科においても、教科の垣根を越えた連携を強めていく。

<生徒の活動>

- 学生活動の充実
生徒会を中心に各部活の部長間での連携をはかり、各行事の企画や進行を行い、成功に尽力した。
- 部活動実績
 - ・演劇部、フラダンス部など 15 の部活が活動している。
 - ・演劇部は高校演劇大会、春の高校演劇フェスティバルに出場
 - ・フラダンス部は 8 月に行われた「フラガールズ甲子園」に出場。地域のイベントにも積極的に出演している

<進路指導の充実>

- 1 年次 担任との二者面談、カリキュラムによる学習の充実
- 2 年次 担任との二者面談、進路希望調査の実施
- 3 年次 担任との二者面談、夏休み前に保護者を含めた三者面談、進路アンケートの実施

各大学、短期大学、専門学校等の資料を置き、希望する生徒が閲覧できるようにした。
就職においては、外部講師による講演をおこない、実社会の仕組み等を学んだ。

<安全および危機管理>

- ・食料、水、毛布の備蓄
- ・避難訓練の実施
- ・消防設備点検の実施
- ・個人情報管理の徹底
- ・定期健康診断の実施

<令和2年度（2020年度）の取り組み>

- ・カリキュラムの充実
- ・各行事の成功
- ・風紀管理の向上
- ・挨拶の励行
- ・新型コロナウイルス対策の徹底

以上